

イデックスオイルレポート ~For a month~

株式会社 新出光

日付	補助金		変動幅		変動幅
6/1~6/3	37.2	出光興産	-4.0	ENEOS	+8.0
6/4~6/10	33.3		-3.5		-3.5
6/11~6/17	27.0		-6.0		-6.0
6/18~6/24	18.2		-8.5		-8.5
6/25~6/30	6.0		-12.0		-12.0

【単位:円/KL】

メニュー価格推移		0.5HPP	ENEOS LS船用燃料油基準価格
	2026年1-3月C重油決定価格	81,920	85,430 【81,920(メニュー)+ 3,510(プレミアム)】
	2026年4-6月C重油仮価格	131,970	138,350 【131,970(メニュー)+ 6,380(プレミアム)】
	2026年4-6月C重油決定価格	未決着	未決着
	決定価格 前期比		

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移		適合C重油	A重油
	2026年1-3月決定価格	90,830	112,900
	2026年4-6月仮価格		
	2026年4-6月決定価格	未決着	157,700
	決定価格 前期比		

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	85	82
Average	75	72
Low	70	67

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格 円/kl	通関CIF ドル/bbl	為替レート 円/ドル	原油CIF価格 前月比
	26/5	9桁速報	114,076	114.66	158.17	12,687
	26/6	最終予測	121,735	121.24	159.63	7,659
	26/7	展望	108,418	109.09	158.00	-13,317
	26/8	展望	93,344	95.13	156.00	-15,074

<3ヶ月価格見通し>

	Brent	WTI
High	92	88
Average	78	74
Low	68	65

【7月 価格変動要因】

- 短期的には75ドル前後で推移し、中期的には78ドル前後へ緩やかに持ち直す見通し
中東の地政学リスク後退やOPECプラスの増産により足元の原油価格は70ドル台前半まで下落しましたが、物流の完全正常化には時間を要することや夏場の電力需要増加などを背景に、3か月程度で緩やかに回復すると予想されます。
- 需要の弱さと供給リスク・組織方針が交錯する市場環境
中国の景気減速やIEAによる需要減少見通しが下押し圧力となる一方、UAEのOPEC離脱に伴う価格防衛姿勢への関心や、欧州のエネルギー確保意識が下値を支える要因となっています。
- 投機筋は綱引き状態で、当面は70ドル台の価格レンジを想定
市場は供給回復期待とリスク残存の思惑が拮抗しており、当面は75～78ドルを中心とした推移が見込まれますが、供給途絶再燃なら88～92ドルへの上振れ、需給緩和が重なれば68～73ドルへの下振れシナリオがあります。